

診療科紹介シリーズ16 小児科

小児科医長 溝口 信行

当院の小児科では6名の医師が診療にあたっております。入院部門ではNICU（新生児集中治療室）から一般小児科病棟、体重で言えば、500gから150kgまでのこどもを守備範囲としています。また、小児科医が常駐しており、入院中の患者様の急な状態の変化や、救急車などで受診される患者様に対し24時間の対応を行っております。

当科の信条は、患者様やご家族の方のニーズにこたえ、なおかつ、スタンダードな医療を行うことです。病気の治療方針については、最新の医学的知見に基づいた具体的な選択枝を提供し、患者様に納得していただける治療法を決定することが大切だと考えています。院内の他科診療部門や、院外の小児外科、精神科、形成外科などとの連携も綿密で、患者様本位の医療が実践できています。

外来部門では、午前中を一般外来、午後を特殊外来と区別しています。発熱などの急性疾患は午前中の外来で対応していますが、診察室を3診まで設けて、患者様の待ち時間を少しでも減らそうと努力しています。午後からは、全て予約制として慢性疾患の診療や乳児健診などを行っています。呉地域では唯一、各分野別に専任の医師が担当しており、てんかん、喘息、アレルギー疾患、心疾患、腎疾患、内分泌疾患、予防接種などについて統一したポリシーで診療を行っております。

また、当科では女医が多いことも特徴の一つです。ここ数年は4名の美人女医が診療にあたっております。思春期の女の子の悩み、母親の育児不安など、同性だから話せることについても気軽にご相談いただければと存じます。

